

第28回 兵庫便教会 報告

7月1日（日）朝から暑い日差しの中、第28回兵庫便教会を開催いたしました。会場は西宮市立浜甲子園中学校、初めて参加の方も入れて、6名で活動いたしました。自己紹介の後、DVD「掃除の道」の拝聴、続いて『清風掃々No31』の便教会トピックス「自分と向き合うトイレ掃除」を読みました。高校生のとても素晴らしい感想文です。冒頭を少し紹介いたします。

「私にとってトイレ掃除は作業に過ぎませんでした。『汚れているからやる』、その先に何があるのか、考えることもありませんでした。しかし今回のトイレ掃除を通して様々なことを考えることができました。その多くは私ひとりのことではなく、私と私の周囲の人との関係についてです。」

感性豊かな高校生の感想文に刺激を受けて、作業にとりかかりました。



今回は3Fの女子トイレをしました。相変わらず掃除が行き届いています。便器を終えたM先生がピカールで洗面台を磨いてくれました。スポンジとカネヨンだけでは為し得ないツヤが出てきて、鏡のように光りだしました。

以下のような感想がありました。「今回の掃除場所は担任している子どもが受け持っている。心配だったが、普段からよくがんばっていることがわかった。ピカールを教えていただき、

色々な方法があることがわかった。」「便教会に来れる時、来れない時があるが、定期的で開催してくれることがありがたい。毎月やっていること、掃除できる場所があるということは幸せなことである。」「最近色々なことに目をむけなければならず、落ち着かない毎日だった。今日は集中して掃除をしたので、頭の中が整理できた。」「日頃から掃除が大事だと生徒に言ってきている。しかし自分自身がどれだけ掃除をしているかと問われれば恥ずかしい。きれいにすることで達成感を感じることができた。」

掃除できる場があって、道具があって、一緒にする仲間がいる。本当にありがたい一日でした。次回は8月4日（土）神戸市立須磨北中学校での開催です。 （文責 木田 重果）

